

2017年11月現在



**MAZDA 41V**

**補修塗装工程**

**クロマックス® プロベースコート**

**ブロック塗装**

AN AXALTA COATING SYSTEMS BRAND

# MAZDA 41V 補修塗装工程

## クロマックス® プロ ベースコート ブロック塗装



### 脱脂・クリーニング:

クロマックス クリーニング剤

全体をクロマックス® クリーニング剤でクリーニング。  
研磨パッドで足付け研磨。

(状態によりP280—P400でサンディング)



エアブロー等でサンディングダストを取り除き  
クロマックス® クリーニング剤でクリーニング。

エアブロー・タッククロスで清掃。



### 中塗り塗装:

クロマックス® サフェーサー類

クロマックス® サフェーサー類をパネル全体に塗装。



### 乾燥

20—30分/60—65℃

### (注意)

金属素地露出箇所があれば、クロマックス®サフェーサー類塗装前に防錆プライマー処理を行う事。

補修箇所は必ずバリューシェード®システムを使用。

# MAZDA 41V 補修塗装工程

## クロマックス® プロ ベースコート ブロック塗装



P500



P1000-P1200



ガイドコートを使用し機械研磨、または水研ぎ研磨。  
クロマックス® 3911WBでクリーニング後、エ  
アーブロー・タックロスで清掃。



ベースコート塗装:クロマックスプロ® ベースコート  
TDSに従いベースコートを塗装し、フラッシュさせる。

**クロマックスプロ® ベースコート Mazda 41V  
WB204Xコントローラー希釈: 20-30%  
最終フラッシュタイム: 艶が完全に引くまで**

# MAZDA 41V 補修塗装工程

## クロマックス® プロ ベースコート ブロック塗装



**カラークリアー塗装:**  
AM原色調合済みカラークリアー  
カラークリアーをクリアーのTDSに従い塗装。



**フラッシュタイム:**  
クリアーのTDSに従い、フラッシュさせる。



**カラークリアー乾燥:**  
クリアーのTDSに従い乾燥。



**クリアー塗装:**  
カラークリアー乾燥後、P1000で中研ぎ研磨を行い  
クリアーを塗装し乾燥。

**クリアーウェットオンウェット塗装(オプション):**  
カラークリアーを十分にフラッシュオフさせた後、  
クリアーをミディアムウェットコートでパネル全体に  
塗装。(通常よりも膜厚が厚くなる為、フラッシュオ  
フ時間・乾燥時間共、長めに取る事。)



**MAZDA 41V**

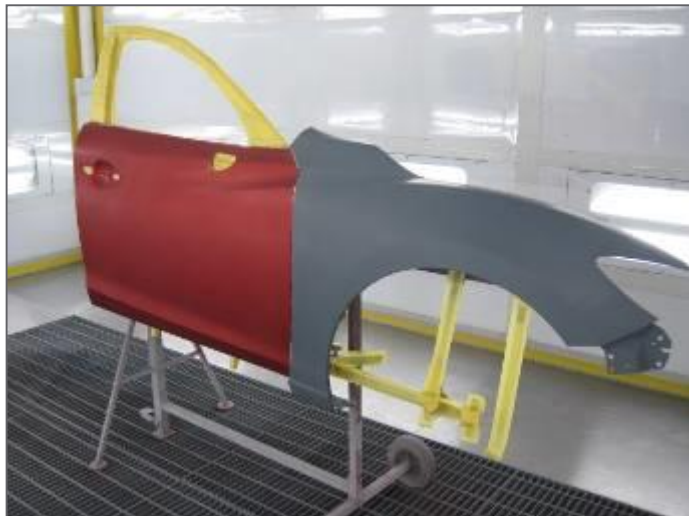
**補修塗装工程**

**クロマックス® プロベースコート**

**ボカシ塗装**

# MAZDA 41V 補修塗装工程

## クロマックス® プロ ベースコート ボカシ塗装



補修箇所：  
プライマー／フィラー塗装後、乾燥。  
サンディングを行いクリーニング。



隣接ボカシ箇所パネル：  
足付け研磨後、クリーニング。



ベースコートのオーバーミストを避ける為、隣接ボカシ箇所のパネルをマスキング。

# MAZDA 41V 補修塗装工程

## クロマックス® プロ ベースコート ボカシ塗装



ベースコート塗装:クロマックスプロ® ベースコート

TDSに従い補修パネルが隠蔽するまでベースコートをウエットオンウエット塗装。



**クロマックスプロ® ベースコート Mazda 41V**  
**WB204Xコントローラー希釈: 20-30%**

# MAZDA 41V 補修塗装工程

## クロマックス® プロ ベースコート ボカシ塗装



### ベースコートボカシ塗装

- ① 隣接パネルのマスキングをはがし、マスキングテープ跡の脱脂、タッククロスで清掃。
- ② 隣接パネルのボカシ周辺にWB209Xブレンダーを1～2回ミディアムウエット塗装。
- ③ 濡れた状態のWB209Xブレンダーへウエットオンウエットでボカシ塗装。ボカシ部分を目立ちにくくする為、隣接ボカシ箇所は角度をつけて塗装。
- ④ 最終フラッシュオフ後、タッククロスでパネル全体のスプレーミストを注意深く除去。



**最終フラッシュオフ時間：艶が完全に引くまで**



# MAZDA 41V 補修塗装工程

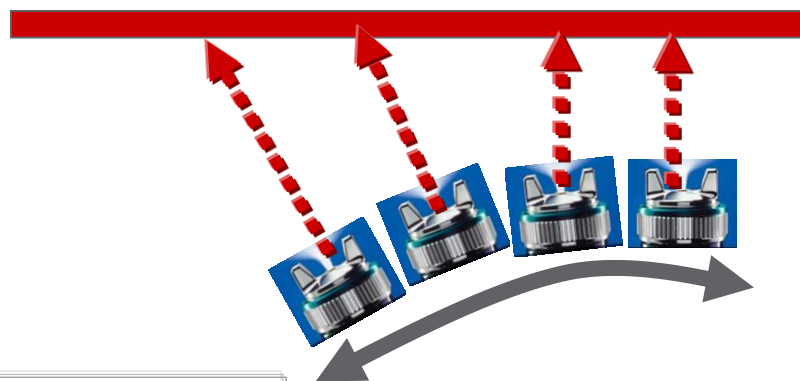
## クロマックス® プロ ベースコート ボカシ塗装



カラークリヤー塗装（1コート目）:

調合したカラークリヤーをカラーベース塗装部分より広めに塗装。

トリガーは常に握った状態で弧を描くようにボカシ塗装。



カラークリヤー（1コート目）

ベースコートのボカシ部分

# MAZDA 41V 補修塗装工程

## クロマックス® プロ ベースコート ボカシ塗装



### クリアー塗装（1コート目）:

カラークリアー塗装後、直ちにボカシパネルの未塗装箇所外側よりカラークリアーボカシ箇所までクリアーを塗装。

（ポイント）カラークリアーのボカシ箇所をクリアーにて均一に馴染ませ肌を平滑にする。

（注意）カラークリアーで使用したクリアーと同じクリアーを使用。



### フラッシュタイム:

使用したクリアーのTDSに従いフラッシュさせる。

# MAZDA 41V 補修塗装工程

## クロマックス® プロ ベースコート ボカシ塗装



### カラークリヤー塗装（2コート目）:

カラークリヤー1コート目塗装部分より内側に2コート目のカラークリヤーを塗装。

トリガーは常に握った状態で弧を描くようにボカシ塗装。

（ポイント）最初に塗装したベースコート塗装範囲まででカラークリヤーを塗装する事。最初に塗装したベースコート上は、カラークリヤーが2回塗装された状態。



カラークリヤー(1コート目)塗装部分

カラークリヤー(2コート目)塗装部分  
\*最初に塗装したベースコートの塗装範囲迄

# MAZDA 41V 補修塗装工程

## クロマックス® プロ ベースコート ボカシ塗装



### クリアー塗装（2コート目）

カラークリアー塗装後、直ちにボカシパネル外側よりカラークリアーボカシ箇所までクリアーを塗装。

（ポイント）カラークリアーのボカシ箇所をクリアーにて均一に馴染ませ肌を平滑にする。



### フラッシュタイム：

使用したクリアーのTDSに従いフラッシュさせる。



### 乾燥：

クリアーのTDSに従い乾燥



### クリアー塗装

乾燥後、P1000で中研ぎ研磨を行い、クリアーをパネル全体に塗装し乾燥。

# MAZDA 41V 補修塗装工程

## クロマックス® プロ ベースコート ボカシ塗装



### (クリアー塗装:オプション)



#### クリアー塗装:オプション

カラークリアー塗装(2コート目)までは同じ手順。

カラークリアー2コート目塗装後、直ちにAK350Cをボカシ箇所へ軽く塗装を行いミストを馴染ませる。

十分なフラッシュオフ時間を取った後、クリアーをミディアムウェットコートでパネル全体に塗装。

#### カラークリアー2コート目塗装部分



#### フラッシュタイム・乾燥:

(注意)オプションのクリアー塗装を行った場合、通常よりも膜厚が厚くなる為、フラッシュタイム・乾燥時間共に長く取る事。



# SHINE ON.

CROMAX IS AN AXALTA COATING SYSTEMS BRAND

